

MDC40HX 7MHz MD200 専用カセットコイル

DIAMOND
ANTENNA

取扱説明書

このたびは、ダイヤモンドアンテナをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、読み終わったあとも大切に保管してください。このカセットコイルは、本体エレメント(MD200)専用の製品です。したがって、本体エレメント(MD200)が無いとご使用になれませんので、ご注意ください。

●特長

- 1.カセットコイル上部の調整コイルの伸縮と、補助エレメントにより簡単に希望周波数に調整できます。
- 2.調整コイルには、カバーが付いており雨天時の水滴による周波数変化を最小限に抑えています。
- 3.高耐入力設計により、余裕をもった運用が可能です。
- 4.2009年バンドプラン変更(200KHz開放)に対応しています。

●取付方法

別途専用エレメントMD200の取扱説明書を参考にしてカセットコイルをM形レセプタブルにねじ込み、フックを丸ナットにはさんで、しっかりと締め付けて、固定してください。

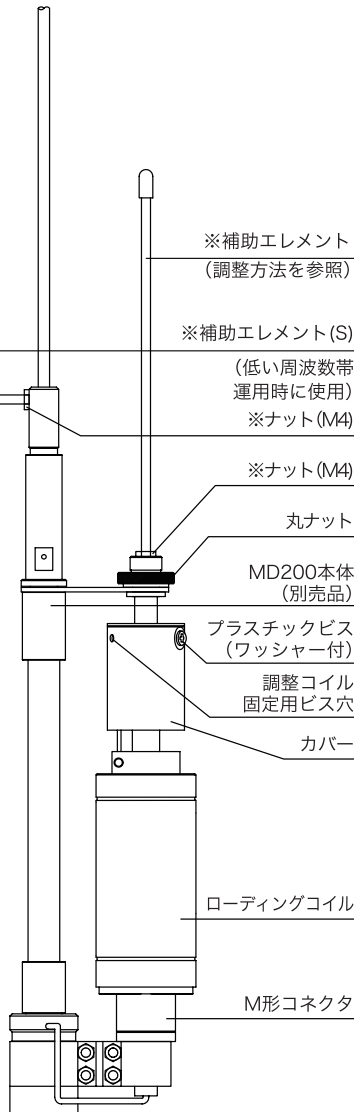
●ご注意

- ①このアンテナは車のボディをアースとして使用しています。
車のボディと基台が完全に導通していないとVSWRが下がらない場合がありますので、基台とボディを完全に導通させてください。当社トランクリッドベースについては付属の保護板をはずし、セットビスを完全に車のボディへアースします。
- ②ラジアルマスト・マグネット基台・ルーフレール基台・キャリア/ミラーパイプ基台などはボディアースが不完全なため使用できません。またマグネット基台については、エレメントが長く倒れる可能性がありますので使用できません。
- ③アンテナエレメントが車のボディに近接したり、他のアンテナの近くではVSWRが下がらない場合があります。この場合、アンテナの取付場所を変えるか、エレメントを障害物から遠ざける方向に少し傾けてください。

●調整方法

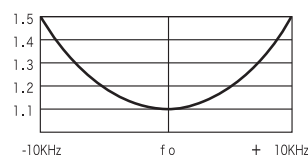
必ずローパワー(10W以下の電力)で行ってください。送信中、アンテナまたはカセットコイルに触れると高圧がかかり、電撃を受けることがあるのでご注意ください。

また、運用中もアンテナ、カセットコイルには触れないようにご注意ください。とくにお子様、歩行者、自転車に乗っている人などの近くで運用の際は、十分ご注意ください。



※補助エレメントとナット(M4)は周波数により取付状態が変わります。

●VSWR表



1. まず目的の周波数を下表より選び、補助エレメントの長さを決定してください。

*目的の周波数と補助エレメント (MHz)

7.00~7.04	7.03~7.07	7.06~7.10
補助エレメント(L)+(S)	補助エレメント(M)+(S)	補助エレメント(L)
7.10~7.14	7.13~7.17	7.16~7.20
補助エレメント(M)	補助エレメント(S)	補助エレメント使用なし

・補助エレメント(L):250mm,(M):175mm,(S):100mmです。

2. 選んだ補助エレメントをカセットコイル上部に、防水用ビスをはずしてねじ込み固定します。
その際、低い周波数帯でご使用の場合、補助エレメントを2本使用するときは、MD200の回転ホイップ部にあるセットビス(上)を取り外し、補助エレメント(S)をその部分にねじ込み水平に固定します。手でねじ込んだ後に、六角ナットをスパナ等でしっかりと締め付けてください。
尚、エレメントの方向は回転ホイップ部を少し引き上げて回転させることで、変えられますので走行に問題のない方向に移動して、ご使用ください。取り外した防水用ビスは保管しておいてください。また、補助エレメントを使用しない周波数帯では、そのまま防水用のビスを取り付けたままでご使用ください。
3. 最後に周波数の微調整を調整コイルで行います。調整コイル上部の穴の中にあるセットビスをゆるめて、カバー部を持ってコイルを上下させ、目的の周波数に合わせてください。尚、周波数の変化量は5mmあたり約6KHz変化します。上に移動すると高く、下に移動すると低く変化します。
4. 目的の周波数に調整できましたら、付属のプラスチックビスとワッシャーを同じネジ部に入れて締め付けてください。

●規格

- ・耐入力:200W(SSB) 70W(FM, CW)
- ・質量:360g

■お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故などによる破損がありましたら、販売店にお申し付けください。

■このアンテナの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。